

平成 28 (2016) 年 9 月 20 日

# 学校法人北海学園

北海学園大学  
北海商科大学

—— 街に、ルネッサンス ——



UR都市機構

学校法人北海学園

(北海学園大学・北海商科大学)

独立行政法人都市再生機構

(東日本賃貸住宅本部)

## 北海学園とUR都市機構が連携・協働 ～UR北海道初！地域の大学の力で地域を活性化！～

学校法人北海学園【北海学園大学・北海商科大学】（以下「北海学園」といいます。）と独立行政法人都市再生機構【東日本賃貸住宅本部】（以下「UR都市機構」といいます。）は、相互に連携、協力を図り、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域（以下「地域」といいます。）における少子化・高齢化などの地域における諸課題に対応する取組みを協働して実施することにより、将来に渡り持続可能で良好なコミュニティの形成や幅広く活躍できる人材の育成など、北海道における「地域の活性化」に貢献することを目的として、連携と協力に関する協定を締結いたしました。



※ お問い合わせは下記へお願いします。

●北海学園

北海学園大学 開発研究所

(電話) 011-841-1161 (内線2253)

●UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

北海道エリア経営センター 管理企画チーム

(電話) 011-223-3695

総務部 総務・法務チーム (報道担当)

(電話) 03-5323-2555

URL : <http://www.ur-net.go.jp/east/press/>

## 1 背景・経緯

北海学園（北海学園大学・北海商科大学）は、多様化する社会の中で幅広く活躍できる人材の育成と地域社会の学術・文化・生活の振興の中心的役割を果たすことを目指し、さまざまな教育プログラムの充実を図るとともに、積極的に社会連携に取り組んでまいりました。

UR都市機構（東日本賃貸住宅本部）は、高齢者をはじめ多世代の人々が互いに支え合い、いつまでも安心して生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり（Aging in Place）を進めていくに当たり、北海学園の持つ専門知識及び活力のある学生の力を活かすことによって、地域の諸課題に対応し、その活性化に繋げていきたいと考え、北海学園と連携・協働することとしました。

## 2 連携協定の内容

（１）本協定は、北海学園（北海学園大学・北海商科大学）とUR都市機構（東日本賃貸住宅本部）が連携・協働することにより、地域における少子化・高齢化などの諸課題に対応し、地域の文化・経済の振興や地域住民の安心・安全、将来に渡って持続可能なコミュニティの形成などの施策を協働して実施し、地域の活性化に貢献することを目的とします。

（２）北海学園とUR都市機構は、この目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協働します。

- ① 学生の教育活動に関する事項
- ② 地域の文化・経済の振興に関する事項
- ③ 地域住民の安心・安全に関する事項
- ④ 地域住民の健康維持・増進に関する事項
- ⑤ 地域福祉の推進に関する事項
- ⑥ 地域情報の共有及び発信に関する事項
- ⑦ 地域拠点の活用に関する事項
- ⑧ その他、協議により必要と認められる事項

## 3 北海学園とUR都市機構の連携・協働事例

（１）大規模集合住宅における住まい方調査及び住環境の改善検討

北海学園大学工学部建築学科の岡本研究室（岡本浩一教授）及び石橋研究室（石橋達勇教授）は、UR澄川団地（札幌市南区）において、団地再生によるコミュニティ維持の可能性、内外のコミュニティ創出・維持・発展の観点からの団地再生、色彩シミュレーションによる外壁色が団地に与える影響、団地住戸内住まい方調査などを計画しており、その研究成果を広く還元することで、今後の地域活性化に繋げていく試みを行っていく予定です。

#### 4 今後の取組み

- (1) 北海学園が持つ専門知識や人材を活かした地域の活性化のための取組みについて、北海学園が総合的・横断的に取り組んでいきます。
- (2) UR都市機構が大学（先生・学生）と団地にお住いの方々の橋渡しを行い、賃貸住宅、施設、集会所などの資産を有効活用することによって、団地における多世代間の交流を活発にし、コミュニティ活動の充実などを図っていきます。
- (3) 北海学園とUR都市機構の連携・協働により、安心・安全、防災、地域経済・文化の振興、コミュニティの形成など、さまざまな切り口から地域の活性化に資する活動を展開し、将来に渡って持続可能なまちづくりを目指します。

#### 【北海学園の概要】（平成28年5月1日現在）

学校法人北海学園

所 在 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

理 事 長 森本 正夫

##### ① 北海学園大学

創 設 昭和27年（明治18年北海英語学校として設立）

所 在 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

学 長 木村 和範

学 部 5学部（経済・経営・法・人文・工）

大 学 院 6研究科（経済学・経営学・法学・文学・工学・法務）

学 生 数 8,406人（卒業生81,228人）

教職員数 234人

##### ② 北海商科大学

創 設 昭和52年

所 在 札幌市豊平区豊平6条6丁目10

学 長 森本 正夫

学 部 1学部（商）

大 学 院 1研究科（商学）

学 生 数 700人（卒業生7,077人）

教職員数 37人

#### 【UR都市機構東日本賃貸住宅本部の概要】（平成28年3月31日現在）

独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部

所 在 地 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号

本 部 長 岡 雄一

管理戸数 923団地 428,088戸

事業概要 住 宅：賃貸住宅ストックを適切に維持管理し、豊かな生活空間を提供

災害復興：災害公営住宅の整備など、被災地の復興をいち早く支援

以 上

学校法人北海学園(北海学園大学・北海商科大学)と独立行政法人都市再生機構(東日本賃貸住宅本部)は、相互に連携、協力を図り、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域における少子化・高齢化などの地域における諸課題に対応する取組みを協働して実施することにより、将来に渡り持続可能なコミュニティ形成や幅広く活躍できる人材の育成など、北海道における「地域の活性化」に貢献することを目的として、連携・協働します。

## 学校法人北海学園

- ▶ 多様化する社会の中で幅広く活躍できる「地域性」等を備えた人材の育成
- ▶ 札幌を中心とする地域の活性化、地域社会における学術の振興の中心的役割
- ▶ 大学の研究成果を地域社会に広く還元



×

街に、ルネッサンス



UR都市機構

- ▶ いつまでも安心して安全に、生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり(Aging in Place)
- ▶ 多世代の人々が交流し、互いに支えあうミクストコミュニティの実現
- ▶ 社会構造や事業環境の変化への対応

## UR賃貸住宅(団地)を舞台に展開

### 地域・コミュニティ

■ 北海学園大学・北海商科大学の豊富な知的・人的資源を活かして、持続可能なコミュニティの形成に寄与する研究や活動への取組み。

#### 【具体的な取組事例】

- ☑ 多様な世代が交流する機会や場の創出、活用
- ☑ 学生の共生コミュニティの創出や地域活動への参加
- ☑ サテライトキャンパス、出前授業等による地域活動

### 環境・エネルギー

■ 住環境の快適性、生活スタイルと省エネルギーの改善などに係る取組み。

#### 【具体的な取組事例】

- ☑ 住宅リノベーション、間取り改善提案
- ☑ 新たなまちづくり提案
- ☑ 環境エネルギーの利活用
- ☑ 快適性と省エネルギーの両立提案
- ☑ 新たな住まい方ライフスタイル等の提案(DIY等)

### 文化・経済/安心・安全

■ 総合的・領域横断的なアプローチによる地域の活性化に寄与する各種の教育研究プログラムへの取組み。

#### 【具体的な取組事例】

- ☑ 安心・安全なまちづくり促進(医療福祉拠点化等)
- ☑ 団地の記憶の収集・保存・活用
- ☑ 支援団地における防災教育の実践
- ☑ バリアフリー化の促進
- ☑ 福祉用具の利活用

## 学校法人北海学園

北海学園大学



街に、ルネッサンス



UR都市機構

東日本賃貸住宅本部  
北海道エリア経営センター

## ◇取組計画例 大規模集合住宅における住まい方調査及び住環境の改善検討(研究)

北海学園大学 工学部 建築学科(岡本教授・石橋教授)と東日本賃貸住宅本部(北海道エリア経営センター)が連携・協働し、「澄川団地(札幌市南区)」において、大規模集合住宅における住まい方調査等を実施し、ミクストコミュニティの実現を目指した今後の住まいとしての住環境の改善検討等を行うことを計画しています。

## 学校法人北海学園

北海学園大学 工学部 建築学科  
(岡本教授・石橋教授)

- 少子・高齢化等の地域の諸課題への対応や地域の活性化のための検討。
- ライフスタイルの多様化や社会環境の変化に即応し、活躍する人材の育成、社会への貢献。
- 経年化したUR賃貸住宅団地を題材とした、住戸内の住まい方等の調査・研究。
- 学生による、団地模型の製作や住まい方調査研究成果の還元、住環境の改善検討の提案等。

フィールドワークとしての場や  
団地情報等の提供、サポート  
等



住まい方調査結果に基づく  
住環境の改善検討の提案  
等

街に、ルネッサンス



UR都市機構

北海道エリア経営センター

- 安心して安全に住み続けることのできる住まい・まちづくりの実現のための取組み。
- ミクストコミュニティの形成や多様な世代に対応した居住環境整備の取組み。
- 「北海道カスタマイズUR(プチDIY)」などURの暮らしを変える企画や取組み。
- 住まい方調査結果に基づく改善提案を踏まえた住環境の改善への取組み。



参考:団地自治会への説明時の様子

### ◇ねらい◇

- ☑ 学生の教育機会の充実(フィールドワークの拡大)
- ☑ 地域活性化(社会への貢献)
- ☑ ミクストコミュニティの形成・実現(持続可能なまちづくり)
- ☑ 住環境、住まい方の改善(新たなライフスタイルの提案)等

### ■ 澄川団地

所在地	札幌市南区澄川6条3丁目2番1号~9号
交通	札幌市営地下鉄南北線「澄川」駅 徒歩11分
管理開始	昭和53~57年 (SRC造11階建2棟、RC造4・5階建7棟)
管理戸数	394戸 (3DK:238戸、3LDK:156戸)